

令和元年度 第6回 政策決定会議 会議録②

-
- ◆開催日時:令和元年 10 月 28 日(月) 09:20～10:00
 - ◆開催場所:市長公室
 - ◆出席委員:永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(素案)について

.....子育て施設課・教育総務課・行財政改革課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(素案)について』

〈説 明 者〉山本子育て応援部長、池宮子育て施設課長、倉橋参事、松阪担当長
藤浪教育総務部長、高井総務課長、井上参事、金永主査
坂井財務部長、渡邊行財政改革担当理事、新内行財政改革課長

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案に一部加筆のうえ承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会の答申を踏まえつつ、今後の児童数の動向も見据え、市立幼稚園及び保育所を再編し、良質な教育・保育環境の提供を目的としていくこと。
- ② 今後再編を進めるにあたって、本方針の丁寧な説明を実施する等十分配慮するとともに、集約となる対象施設に関しては、より詳細を示した個別計画を策定すること。また、就学前児童を取り巻く環境に大きな変化があった場合は、必要に応じ本方針を見直すこと。
- ③ 今後のスケジュールについて、決定会議での承認を経て、11 月1日から 12 月2日までの期間でパブリックコメントを実施。12 月議会に報告し、1月以降市民説明会を実施。

◎説明後、質疑応答

〈市 長〉答申の補足意見の部分はどのように素案に反映されているのか。

〈倉 橋 参 事〉「今後の就学前児童に対する教育・保育の考え方」の4点目に、「民間園との連携・教育体制の強化」としている。今後民間の力を活用して認定こども園を整備するにあたり、民間園にも公立が果たしてきた役割を担ってもらおうという前提で、補助金制度の創設や、研修会の開催を通じ、ともに進めていくということで整理している。

〈市 長〉答申では、セーフティネット機能やコーディネート機能は公共が果たす役割として位置づけられているが、素案にはその内容は盛り込まれているのか。

〈松阪担当長〉我々としては、民間園でも既に十分な実績があり、そういった機能も果たしていただいており、行政と民間が連携・協力したうえでさらなる教育・保育環境の充実を図っていきたいと考えている。セーフティネット・コーディネート機能については、民間園と連携・協力を図りながら機能の確保をしていきたいと考えている。

〈市長〉市立・民間を問わず、こども園そのものが子育てのセーフティネットといえ、それを市立だけに限定してしまうと、距離的に離れている家庭が外れてしまうことになるので、セーフティネットとは言えない。また、コーディネート機能も、もう少し中身を詰めていただきたい。どのように説明するのか。

〈土佐副市長〉セーフティネットは民間と連携しながら確保するということ、コーディネート機能に関しても誰かが特別に担うものではなく、民間と連携しながら環境を整えていくという考え方で整理できる。

〈市長〉説明できるよう整理・準備をしておくこと。

〈小山副市長〉本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和元年 10 月 23 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 子育て応援部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(素案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	幼稚園の就園率の低下、保育所の待機児童の発生、施設の老朽化等様々な課題が生じている。 同方針(素案)は、岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会からの答申を踏まえつつ、今後の児童数の動向も見据え、市立幼稚園及び保育所を再編し、もって本市の未来を担っていく子どもたちに、良質な教育・保育環境を提供することを目的に策定したものである。 今般 11 月より素案についてパブリックコメントを実施するにあたり、政策調整(決定)会議に附議するものである。
説明者	子育て応援部子育て施設課:山本、池宮、倉橋、松阪 教育委員会総務部総務課 :藤浪、高井、井上、金永 財務部行財政改革課 :坂井、渡邊、新内、北川
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和元年度 第6回会議
付議事項	岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針(素案)について

★取組の目的

対象	就学前児童
どのような状態を目指す	就学前児童の保護者にとって良好な幼児教育・保育環境を実現するため、市立幼稚園及び市立保育所の再編を実施する。

★総合計画上の位置付け

102010201	基本目標	I－2 次世代を育てる
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)安心して子どもを生み育てている
	目指す成果	②仕事と子育てが両立できている
	行政の役割	ア 安心して子どもを預けられる環境を整える

★現状と課題

幼稚園の就園率の低下、保育所の待機児童の発生、施設の老朽化等様々な課題が生じている。
同方針(素案)は、岸和田市立幼稚園及び保育所あり方検討委員会からの答申を踏まえつつ、今後の児童数の動向も見据え、市立幼稚園及び保育所を再編し、もって本市の未来を担っていく子どもたちに、良質な教育・保育環境を提供することを目的に策定したものである。
今般11月より素案についてパブリックコメントを実施するにあたり、政策調整(決定)会議に附議するものである。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
民間園施設整備補助金		0	0	0	0	0	1,320,000	1,320,000	1,320,000
財源内訳	国費						1,000,000	1,000,000	1,000,000
	府費								
	起債						256,000	256,000	256,000
	一般財源						64,000	64,000	64,000
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		3,960,000			0	0	1,320,000	1,320,000	1,320,000

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	無	0	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

						目標値				
	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①	本方針により設置される認定こども園数	園	0	0	0	0	0	4	4	4
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。